

編集後記

今回で18号となる学術情報処理研究をお届けします。本誌は、全国の国立大学法人の情報基盤の管理・運用にたずさわる情報系センター職員の研究開発活動を学術論文として公開するために創刊されました。また第15号からは学術論文としての質を向上させるため複数査読制を採用しています。第18号編集委員会では、新たな試みとしてWebによる学術会議の管理システムであるEasyChairを利用し、投稿から査読、編集に至るほとんどの作業をオンラインで行いました。問題もいくつかありましたが、デスクトップでは煩雑な原稿ファイルや査読報告の扱いがシステム上で一元化される上に、編集作業の進捗を可視化できるなど、その効果を実感しました。

第18号では11件の論文が採択され、そのうちの7件は学術情報処理研究集会で口頭発表も行われます。採択された論文には無線(WiFi)接続環境、情報セキュリティ、BCPなど大学における情報基盤の現状を反映した主題が数多く見受けられます。またサーバへのアクセス集中対策や緊急時の対応などは、情報系センターならではの主題といえます。いずれの主題も投稿者のみなさまが自らの体験を論文としてまとめ、価値ある知見として伝えようとする意欲と見識の高さを示すものです。これらの論文が読者のみなさまの業務に、ひいては大学情報基盤の改善に役立つことを疑いません。また本誌が情報系センター職員の研鑽とセンターの継続的な発展に役立つことを切に願います。

最後になりましたが、慣れないシステムを使ったせいで著者のみなさまや、査読をお引き受けいただいたみなさまにご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫びします。また夏季休暇の時期と重なった、しかもごく短期間での査読に快くご協力いただいた査読委員のみなさまにはお礼の言葉もありません。ほんとうにありがとうございました。

「学術情報処理研究」
編集委員長 井宮 淳

学術情報処理研究 編集委員会

委員長 井宮 淳 (千葉大学)
委員 全 へい東 (千葉大学) 今泉 貴史 (千葉大学)
不破 泰 (信州大学) 鈴木 彦文 (信州大学)
長谷川 理 (信州大学)

査読委員 (50音順)

青山 茂義 (新潟大学)	浅本 紀子 (お茶の水女子大学)	井口 寧 (北陸先端科学技術大学院大学)
岩橋 政宏 (長岡技術科学大学)	大森 康正 (上越教育大学)	奥村 弘 (富山大学)
北口 善明 (金沢大学)	佐伯 元司 (東京工業大学)	佐野 洋 (東京外国語大学)
敷田 幹文 (北陸先端科学技術大学院大学)	徐 浩源 (横浜国立大学)	田井野 徹 (埼玉大学)
高瀬 浩造 (東京医科歯科大学)	高田 良宏 (金沢大学)	高野 浩志 (上越教育大学)
武井 由智 (長岡技術科学大学)	多田 充 (千葉大学)	立川 崇之 (福井大学)
戸田 勝善 (東京海洋大学)	中島 康 (一橋大学)	西岡 知之 (筑波技術大学)
布村 紀男 (富山大学)	野口 宏 (茨城大学)	萩原 洋一 (東京農工大学)
濱元 信州 (群馬大学)	前田 敦司 (筑波大学)	三河 賢治 (新潟大学)
三原 義樹 (宇都宮大学)	森本 康彦 (東京学芸大学)	矢崎 俊志 (電気通信大学)